

# 行政評価委員会開催結果報告書

平成24年9月26日

|        |  |
|--------|--|
| 会議の名称  | 平成24年度第11回石狩市行政評価委員会   |
| 開催日時   | 平成24年8月8日(水)9時25分～11時30分   |
| 開催場所   | 石狩市役所3階 庁議室  |
| 出席委員   | 松井委員長<br>長谷部副委員長<br>堀内委員<br>堀委員<br>岩崎委員<br><br>(計 5名)  |
| 欠席委員   | <br><br>(計 0名)   |
| 説明員職氏名 | <br><br>(計 0名)   |
| 傍聴者    | <br><br>(計 0名)   |
| 議題等    | 1 議題<br>(1)評価報告書の検討について<br>2 その他(次回の日程確認等)   |
| 結果     | ・評価報告書の作成に向けた委員協議を行った。<br>・意見は事務局にて取りまとめ、次回以降の委員会で各委員の確認を受けて確定することとした。<br><br>(次回開催日程)<br>第12回 平成24年8月15日(水)13:30～ 於:庁議室 |
| 事務局職員  | 企画経済部 加藤企画経済部長、松田企画課長、佐々木主査、青木主任   |

## 審議内容の記録（審議経過、結論等）

### 1 開会（9：25）

### 2 議事

#### (1) 評価報告書の検討について

【配布資料に基づき「中間精査」の状況について説明】事務局：佐々木

・「中間精査」とは、本市の行政評価制度上、評価年次（H23）と改善策の実施年次（H25以降）の間に生ずる1年のブランクを調整するため、当委員会やパブリックコメントの意見、現時点の取り組み事項などを踏まえ、施策の担当部長によって、1次評価に対するフォローアップを行ったものである。

・具体的には、主に1次評価で記載した「(3)具体的な対応策、改善事項」の変更点や補足事項などについて、担当部長によるコメントを記載している。

【質疑応答】（ は委員発言要旨、・ は事務局発言要旨）

「地域福祉の充実」

中間精査における地区社協の特色ある活動や組織づくりの必要性の記述で、「地域自治会や地域協議会など」となっているが、厚田区や浜益区だけを対象とする考えなのか。「町内会」という表現も加えてはどうか。

地区社協に関する記述で、「地域のつながりが強い浜益区では、」となっているが、支え合いの意識が高い地域は浜益区に限ったことではない。

「学校教育の充実」

「(3)具体的な改善策に関する意見」の中で指摘している、「学力向上推進事業」の確かな学力の手ごたえを確認できる指標の検討について、担当部長による中間精査では触れられていない。

中間精査の「特別支援教育」に関するコメントは、この表現であればあえて記載する必要はない。

「まちづくりへの市民参画・協働」

中間精査では、市民協働事業提案制度の「行政提案型」が、行政からの押し付けにならないよう配慮が必要とした当委員会の意見を踏まえた内容となっている。

・字句の修正を含め、指摘のあった箇所については、各施策担当部長に確認する。

【報告書（案）について説明】事務局：佐々木

・1～2ページ「1.今年度の行政評価について」では、行政評価の概略、特に、当委員会により総合計画前期期間中の5年間で32施策の外部評価に取り組んできたこと、今年度は評価対象を5施策に絞って選定したことを述べている。また、1ページの中段以降では、これまでの委員会を通して議論が多かった、成果指標の機能が十分に発揮されていない点、市民アンケートを用いた実績把握に関するご意見について述べている。

・2ページには、第1回委員会で説明した「委員会による施策評価の実施状況」を参考表として掲載している。

- ・ 3 ページ「 2 . 施策評価の対象」では、今年度の評価対象とした 5 施策、4 1 事業を、4 ページ「 3 . 評価経過について」では、今年度の委員会開催状況等を一覧表で掲載している。
- ・ 特に、4 ページでは、第 2 回から第 1 0 回委員会で、 担当部局ヒアリング、 評価意見の検討・まとめのサイクルを基本に委員会を進めてきたこと、今年度から新たに、施策シートの「中間精査」の状況を確認したことを記載している。
- ・ 5 ページ「 4 . 施策評価の視点」では、当委員会の評価の視点として、第 1 回委員会で確認した、「担当部局ヒアリングの視点」と、その後の「評価意見の検討に当たっての視点」について掲載している。
- ・ 6 ページ「 5 . 施策評価（総括）」では、本報告書の総括として、施策や事業等に共通した課題や指摘事項をまとめている。
- ・ 特に、今年度においては、市民アンケートの設問主旨が十分に伝わるような改善や選択肢の設定方法の検討（ 2 ） ）、人的支援の拡大のため今以上に協働を意識して取り進めること（ 3 ） ）、市民参画を推進していくための賛助会員制度の拡大（ 3 ） ）、本報告書による指摘や課題提起に対するその後の対応状況などをフィードバックすべきという要望（ 4 ） ）を述べている。
- ・ 8 ページ以降には、例年同様、今年度の評価対象となった個別施策の施策シートとその付表を添付する。

【報告書原案の検討】（ は委員発言要旨、・ は事務局発言要旨）

- 6 ページ「(4)その他」について、その後の改善・対応の状況はどのように報告するか。
- ・ 9 月中に予定している行政評価会議の終了後、最終評価の結果を書面で送付する方法もあるが、12 月頃を目途に改めて委員会を開催して報告する方法もあると考えている。
- 行政評価委員会のあり方や、立ち位置などを整理する場も必要ではないか。市長に答申した評価結果のフィードバックと合わせて、行政評価委員会の評価も必要である。
- ・ 今年度の評価結果のフィードバック方法と、今後の行政評価委員会のあり方は、別に考える必要があるが、来年度から総合計画の見直しを始める場合には、今年度中に方向性が決まった方が良いと考えている。

### 3 その他

#### (1) 次回の日程確認

- ・ 次回、第 1 2 回委員会の開催日程を確認。
- 第 1 2 回 8 月 15 日（水） 13 : 30 ~（庁議室）

#### 4 閉会（11 : 30）

平成 24 年 9 月 28 日 議事録確定

石狩市行政評価委員会 委員長 松 井 義 孝